

一ノ木戸小学校 学校だより 令和6年3月25日第13号



ひびき

一ノ木戸ポプラ学園

めざす子ども像

◆ゆたかなかわりを求めて
夢や希望をもち
未来をひらく子ども

卒業証書授与式辞より

校長 渡邊 芳久

(略) さて、私が皆さんと一緒に過ごしたこの一年間を少しだけ振り返ります。

今年度、一番の記念は学校創立百五十周年です。多くの行事を百五十周年記念として執り行いました。

五月の運動会では、皆さんの代表、保護者の方の代表、地域の方の代表、そして第二中の佐藤校長先生と私とで、百五十周年記念聖火リレーを行い、未来へとその炎をつなぎました。

六月には、学校創立百五十周年記念式典・記念音楽会を開きました。児童代表の言葉、一小マスコットのポプラ君&いちのきドン登場、そして各学年の音楽発表。卒業生の皆さんの心にも強く残る記念すべき一日だったことと思います。

同じく六月。修学旅行。皆さんの先輩は行ったことのない「きらりうむ佐渡」という施設を訪れ、世界遺産登録が期待されている佐渡の金・銀山の歴史などを学んできました。

夏休み明けからは、百五十周年記念全校モザイクアートの制作に取り組みました。皆さんの分担箇所が一番多く、また大変な箇所でした。自分の手で貼ったタイルをどれか？今でも覚えていますか？卒業してからも、時々モザイクアートを見に来てください。更には、四年ぶりに復活したPTA文化祭バザー。存分に楽しんだことでしょう。

他にも、秋の持久走練習、冬の児童会ポプラフェスタなど、小学校生活最後の行事、活動がたくさんありました。五年生までと比べてどうでしたか？きっとこれまでとは違う感覚を持ったのではないのでしょうか。それは、卒業生の皆さんが、最高学年の自覚をもち、それぞれの行事、活動に全力で臨んだからだだと思います。かがやき かがやき合い かがやかせ合う一ノ木戸小学校のために頑張り続けてきた皆さんに感謝です。

では、最後に、卒業生の皆さんへはなむけの言葉を贈ります。皆さん、今年はオリンピックイヤーであることを知っていますか？今年の夏、あとおよそ四か月後には、フランス、パリでオリンピックが開催されることになっています。どんな競技、試合が展開されるのか、今から楽しみですね。そのオリンピックを今からおよそ百四十年前に始めた、クーベルタンという人が唱えた言葉「より速く より高く より強く」という言葉は聞いたことがありますか？この「より速く より高く より強く」英語では Faster, Higher, Stronger という言葉は、オリンピック憲章にオリンピックのモットーとして永く記されています。オリンピック憲章とは、日本で言えば日本国憲法のようなものです。その第一章に「より速く より高く より強く」というオリンピックモットーが書かれています。もちろん、この言葉の意味するところは、他と競争して、他の人よりも速くとか、他の人よりも強くという意味ではありません。基準はあくまで自分自身であり、今の自分から一步でも前に進もう、そのために行動しようという意味の言葉です。そして、この百年以上変わらず続いてきた言葉に、二千二十一年に開催された東京オリンピックの時から新たな一言が付け加わりました。知っている人はいますか？その一言は英語で「together」、共に、一緒にとという意味の言葉です。“Faster, Higher, Stronger - Together 「より速く より高く より強く 共に 一緒に」今の自分から一步でも前に進もう、そのために行動しよう 共に一緒に。“Faster, Higher, Stronger - Together 卒業生の皆さんへのはなむけの言葉とします。(略)